



確かな学力の向上をめざして

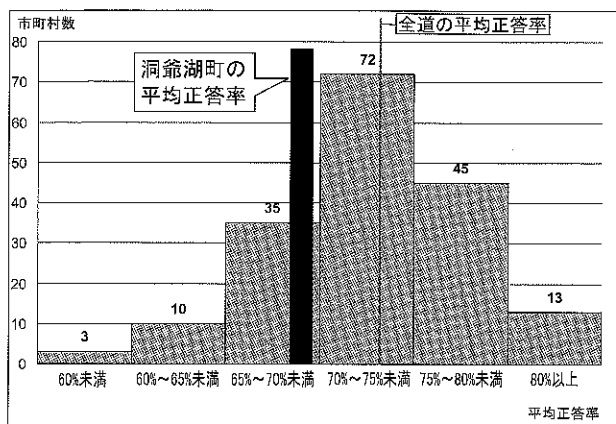
調査は、東日本大震災のため全国統一実施が見送られました。北海道は札幌市を除き全公立小中学校が参加して9月に行われ、このほど結果がまとまりました。洞爺湖町も全小中学校が参加し、小学6年生と中学3年生が国語と算数（数学）の学力調査及び生活習慣、学習習慣に関する質問紙調査に取り組みました。

教育委員会管理課 ☎74-3009

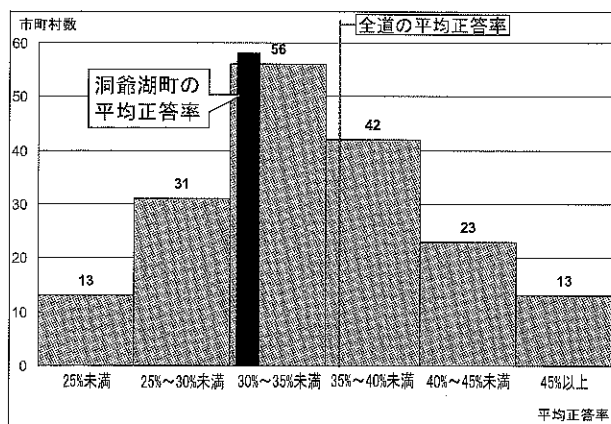
< 小学校 >



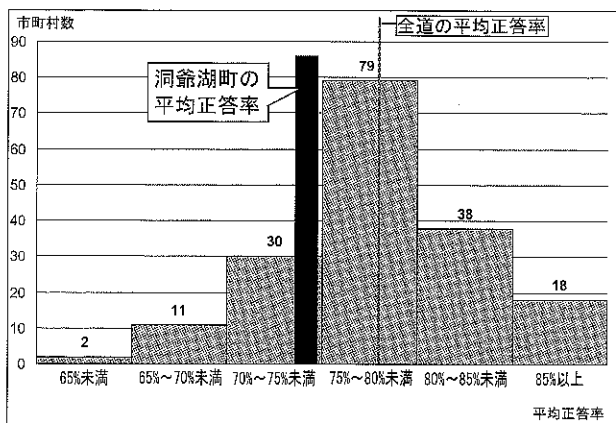
国語 A



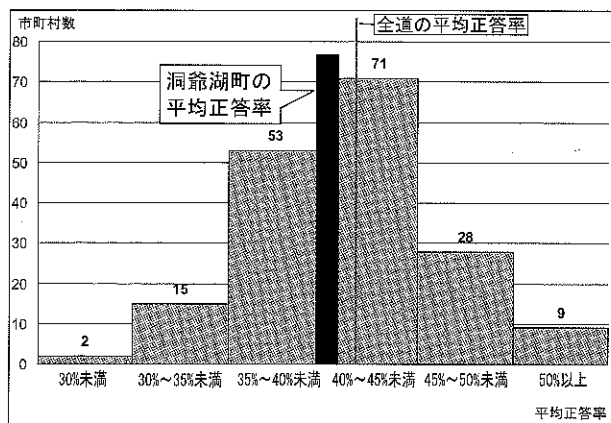
国語 B



算数 A



算数 B

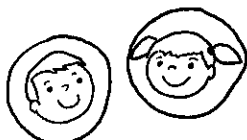


※Aは主として知識問題、Bは主として活用問題

◆ 結果の概略

洞爺湖町の平均正答率は全ての科目で北海道平均を下回っています。これは、平成19年度の第1回以来、5回連続です。この調査が個人の能力、学力のごく一部の状況を示すものとはいえ、好ましい結果とはいえません。しかし、北海道平均との差は確実に小さくなってきています。学校によっては、北海道平均を大きく上回ることもあります。

「知識」を問うA問題は基礎・基本ともいえますが、その習得を図ることが早急に求められています。



表の見方

各科目の北海道平均正答率を、5%ごとの階層に区分し、その階層に含まれる市町村数を示しています。—線は北海道の平均正答率の位置を、—線は洞爺湖町の平均正答率のおおよその位置を示しています。

小学校国語A問題でみると、平均正答率65%~70%未満の階層に洞爺湖町が位置します。この階層には35の市町村が属することを示しています。